

<服薬についてのテスト—服薬自己管理モジュール改>

年 月 日 氏名 _____

次の質問に○×で答えてください。

正しいと思うものに○、間違っていると思うものに×をつけてください。

○×欄

1. 症状と副作用の違いは、症状は病気が原因で起きるもので、副作用は薬が原因で起きる。 ()
2. 口が渴いたり、ときどき眠くなることがあっても、薬は飲み続けなければならない。 ()
3. 副作用のなかにも、すぐに手立てをとらないといけない重い副作用と、しばらく様子をみてよい軽い副作用がある。 ()
4. 薬は毎日決まった時間に飲むほうがよい。 ()
5. 服薬していても、お酒を飲んでかまわない。 ()
6. 3~6か月の間、毎日薬を飲み続ければ私の病気は治る。 ()
7. 薬で幻聴や妄想、不安などの症状が改善されるが、それだけでなくテレビをみたり新聞を読んだり（集中力・思考力）することも楽しめるようになる。 ()
8. もし友達の薬がなくなったら、私たちは同じ色の薬を飲んでいるので自分の薬を1回あげてもよい。 ()
9. 薬を飲んでいて困った副作用などがあったら、全部の薬をいったん飲むのをやめて、次回の診察日に主治医に相談する。 ()
10. 薬が変わったら自分の精神的変化や体調に気をつける。 ()
11. 服薬を続けながら、作業デイケアやデイケアなどの治療プログラムにも参加すると服薬の効果の手助けになる。 ()
12. 薬を飲み続ければ、再発はしない。 ()
13. 薬によつては、体重が増える副作用があり、工夫しても抑えられない。 ()
14. 症状がよくなつたと自分で感じたら、次の日から薬をやめてもよい。 ()
15. 同じ薬を飲み続けていても遅れて出てくる遅発性ジスキネジアという副作用があるが、いったん起きると決して抑えられない。 ()
16. 薬を飲んだ具合を主治医と定期的（受診時）に話し合うようにする。 ()
17. 医師から出された薬を飲み続けると中毒になつて、やめられなくなる。 ()
18. 主治医に薬を飲む目的や、その薬で起きるかもしれない副作用について質問をしてはいけない。 ()
19. 気分よく目覚めた日なら、いつもの薬は飲まない。 ()
20. 外出時に飲み忘れた薬は1回くらいなら飲まなくてもよい。 ()